

講演

# にく 生き難さがあるからこそ 「当たり前」に叶えたいこと

～「その人らしい」暮らし方を考える～

講師



## 伊藤あづさ氏

- ・幸太郎さんの母
- ・一般社団法人  
ふれいん・ゆに〜くす  
代表理事 仙台市在住

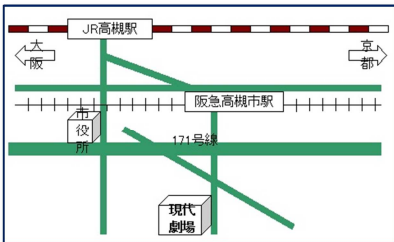
「自閉症」のこどもを授かった親として「あったらいいな」を実現していくために法人を設立。自閉症・発達障害のあるご本人とご家族に未来を創ることに奔走する日々。あづささんは地元仙台市で各福祉サービス事業を運営しながら、幸太郎さんが生活する高槻市へ、年に何度も飛んでこられます。

「なぜ幸太郎さんは高槻に?」「どんな暮らし方?」「どんな未来を目指していくの?」「他市から見た高槻ってどんな街?」伺ってみたいことがいっぱいです。奮ってご参加ください。

日時 2016年11月6日(日)

午後1時半～3時半(1時開場)

場所 高槻現代劇場 文化ホール



3F レセプションルーム  
高槻市野見町 2-33

主催 高槻市・高槻市教育委員会

第4回

発達障がいをより深く考えるための高槻フォーラム

入場無料  
申込不要  
先着300名

手話通訳  
要約筆記  
車椅子席  
あり

親と支援者  
両方の立場から  
お話いただきます。  
お楽しみに。



協賛

- 社会福祉法人  
高槻市社会福祉協議会
- 一般社団法人  
高槻市人権まちづくり協会
- 高槻市 PTA 協議会

企画・運営

高槻市障害児者団体

連絡協議会 (こうしょうれん)

高槻市城内町 1-11  
高槻市立障がい者福祉センター内  
TEL.072-672-0672  
FAX.072-661-4714  
(担当 金丸・硯)

## 講師からのメッセージ

知的障害を合併する自閉症の息子と「離れて暮らす」。そんなことは考えてもみないことでした。  
“障害があろうがなかろうが「人」として尊重し合える人に囲まれた暮らしが叶ったら…  
きっと息子たちの新しい暮らし方が実現できるかも”

こんな無謀な考え受容れてくださった方々の力をお借りして高槻での暮らしが始まって2年半。  
それまで親元で叶っていた「当たり前」がそのままに、想像以上に「素敵な青年」になりました。  
私たちの子どもの「その人らしい」暮らしを、共に考えていただけたら幸いです。

あづさんが普段生活されているのは宮城県仙台市。  
一般社団法人ふれいん・ゆに〜くすの代表理事として、放課後等デイサービス・就労移行支援・自立訓練・指定相談支援の各福祉サービス事業を運営し、ご多忙な毎日を送られています。

「あづさんってどんな人？」が10分でわかる動画があります。  
『伊藤あづ ドリブラ』で検索してみてください。



一方、一人息子の幸太郎さんは18歳の春から高槻暮らし。ヘルパーさんのサポートを受けながら、就労支援の事業所に毎日通所。定型発達の方とのシェアハウスという新しい暮らし方をされています。高槻市民になって3年目、幸太郎さんはまだ1度も里帰りせず、成人式も高槻で参加されたそうです。

**発達障がいとは、生まれつきの脳機能の違いです。  
親の育て方や、本人のわがままでもなるものではありません。**

今年度は障害者差別解消法も施行され、誰もが合理的配慮を求められるようになりました。ご本人・ご家族・支援者など直接関係ある方も、今まで身近に縁のなかった一般市民の方も、より正しく理解し、より深く考えていく機会となりますように。

### 『発達障がいをより深く考えるための高槻フォーラム』の歩み

- 第1回 2013.11.5 『ちょっと気になる子どもの理解に向けて～発達障がいについて』  
若宮英司氏（藍野大学医療保健学部教授、小児専門医、小児神経科専門医）
- 第2回 2014.11.9 『発達障がいという希望 ～診断名にとらわれない新しい生き方～』  
高岡健氏（岐阜大学医学部准教授、精神科医）
- 第3回 2015.11.8 『あかし研究 2015』  
小道モコ氏（ASD 当事者）

